

平成30年5月24日付け諮問に係る意見（一覧）

意見集約（平成30年度第1回から令和4年度第3回まで：開催回数 9回）

【1. 水質（県水、硬度、塩素等）】ビジョン施策1

番号	意見・質問	審議会開催日
1	確かに本庄市の水は安いのですが非常に硬度が高く、県水のほうは軟水なので、混ぜることにより中和されており、その点は利点だと考えています。安いだけでなく、硬度を下げずに人間が飲んでいきますと胆石になったりする可能性もあるので、市民としては双方をバランスよく混ぜてもらえるとありがたいと思っています。	令和元年度第2回 (令和2年2月21日)
2	次亜塩素酸ナトリウムは発がん性に関連があると言われており、低ければ低いほどいいと思います。0.10以下になってしまうと水道法違反になってしまいますので、0.40より低くしてもらえれば良いと思います。 もうひとつ、次亜塩素酸ナトリウムは塩素から作るものですが、今は天然塩から作るものもあります。こちらのほうが安全性は高いと言われていまして、事務局には是非研究してもらおうようお願いします。	
3	県水の購入ではなく、自己水で水道水を賄うようにしてもらえるといいと思います。	令和3年度第1回 (令和3年6月30日)

【2. 災害対応（施設更新、給水袋等）】ビジョン施策3

番号	意見・質問	審議会開催日
4	給水袋（300袋）は災害の時には市民に提供できるものですか。昨年台風19号などの災害もあり、私も以前土砂災害の被害を受け避難しましたが、この度本庄市で初めて避難指示が発令され、その時に、私の地区には自治会館などがありますが、私は現在自治会長をしておりますので、副会長に連絡をし、会館などを開放するように指示を行いました。 また、本庄市から避難指示が発令され、「セルディ・小学校を避難所として開放しましたので、避難してください。」との指示でした。普段の広報を住民がよく理解していない場合もあり、必ず地元の方々に自治会館に避難する方がいると思いましたが、やはり、指定された避難所ではなく自治会館などの避難場所に避難する方々がいても、その避難場所では、食料がない、水がないということが往々に見受けられました。そうかと言って、避難所に避難するのに、「食料や水は自分で持ってきてください。」と言われても、なかなか用意ができません。給水袋が用意してあるということで、市にも備蓄はあると思いますが、今後も備蓄について努力していただきたいと思っています。	令和元年度第2回 (令和2年2月21日)
5	利根川の堤防が決壊して本庄市側に流れてきた場合に、昔の写真などを見ると伊勢崎に行く道などは全部水没してしまっていて、そうであれば都島浄水場も水没しているわけだから、ダウンした場合に大丈夫なのかを確認したい。それがなくなると大変なことになってしまう。	

6	(浄水場が浸水した際の対応について) 水が引けるのを待つというような説明ですが、それは起きてから対応するというようにも聞こえます。事前の危機管理ができていないようにも聞こえます。それでいいのかと思います、他人事のような、自分の財産を失うわけではないですし、ちょっとどうかと思います。もう少し市民のためと言いますか、損失を出さない方法と言いますか、施設を守るということも含めて、もう少し親切丁寧な説明がいただければと思います。	令和4年度第2回 (令和4年7月27日)
7	洪水ハザードマップというものを、あまりあてにしていなくてもいいものか、軽く考えていいものか、何かことが起きてから考えるのか、どうも説明の中で、ことが起きてから考えるようにも聞こえてしまいますが、それでいいのか。	
8	市で作成しているハザードマップは非常に大切ですので、住民もその情報をあてにして行動します。分からないということでは困りますので、よろしくお願いいたします。	
9	先日発生した静岡の水害などを見ますと、こんなことが起こったら大変だなという思いが強くなりますので、こうしたことが無いことを願ってはおりますが、何かあったときにはすぐ対応していただかないと、5日も6日も水道が出ないのでは、飲み水はおろかトイレの水も流せないという状況は、明日は我が身であるなというように感じているところです。 昨今、雹が降ったり、大変な水害があったり、今まで本庄市の周辺はあまりそういうことがない地域だと思っておりましたが、そんなこともないなという思いが強くなりますので、十分に備えていただいて、何かあったときに対応していただければと思います。	令和4年度第3回 (令和4年9月29日)

【3. 更新（漏水、アセットマネジメント）】ビジョン施策2、施策4

番号	意見・質問	審議会開催日
10	これだけの調査をして、これだけの工事費用をかけて、漏水が何トン減りましたとか、逆に数字で出してくれたほうが、これだけやっているのに率がなかなか改善しないんだなという方が、市民やここにいる委員の皆さんの理解が得られると思ったものですから、可能であれば、今後よろしくお願いします。	令和元年度第2回 (令和2年2月21日)
11	管路の耐震化の話なのですが、水道の工業者に聴くと管路の耐用年数がだいたい30年から40年ですよということで、最初から更新が必要なのは分かっているということで、ここに出てきた耐震化とか、危機管理のほうの事業費は分かるのですが、この管の更新計画はきちんとできているのですか。 これからでてくる管の更新について、その予算の管理が適切に考えられているのか、所見をお伺いしたいと思います。	令和3年度第1回 (令和3年6月30日)
12	アセットマネジメントの件ですが、資料では計画策定の業務委託と記されているだけなので、システムの導入により策定する旨を記載したほうが良かったのではないかと思います。 それと、管路についてですが、私が気にしているのは、これからまた漏水が増えたから、もう少し更新工事を急ごうとって、一般財源を残せだとかお金が足りるのか、そういう心配がでてきますよね。その辺を踏まえて、きちんとした計画をしているのだと思うのですが、何か間に合っていないような気がするのですが、その辺はいかがですか。	

13	<p>費用の関係ですが、旧児玉町でも井戸やポンプ場など施設を一式持っていると思うのですが、アセットマネジメントの手法を取り入れることにより、例えば、老朽化が進む旧児玉町の施設を廃止して旧本庄市の施設から水道水を供給するなど、工夫することはできないのでしょうか。</p>	<p>令和3年度第1回 (令和3年6月30日)</p>
14	<p>漏水率が11.5%ですが、県水の受水分がそっくり漏れているということだと思いますが、これがゼロであれば、ほとんど収益になるので、ぜひ漏水率を下げる努力をしてもらって、それはなかなか難しいとは思いますが、してもらえれば県水分漏れているものが全て利益になりますので頑張っていってほしいと思います。</p>	<p>令和4年度第1回 (令和4年5月27日)</p>
15	<p>ご議論にもありましたが、施設の更新とか耐震化とか、それなりにやっぴかなければいけないということ、私の目からも感じたところがございます。そういった意味では、皆様にとって理解を一層深める良い機会となったものと思います。</p>	<p>令和4年度第2回 (令和4年7月27日)</p>
16	<p>管路の更新、これにつきましても、耐用年数40年、一周するためには年2.5%の更新が必要となると、計算は簡単ですよ。ところが、それに対して、達成率は何分の一という状況なので、とはいえ法定耐用年数が40年ということは、40年経ったら必ず壊れるかと言えば、必ずしもそうではないわけです。その辺も見ながら、ハンドリングも大変難しいことだと思いますが、法定というのは、あくまで国が決めたことですから、それには指標がないとできないことですから、難しいことではあるけれども、施設の状況の調査等を慎重にやっていただきながら、適切な対応をしていただければと思います。</p>	
17	<p>建設改良費の推移とビジョンを拝見して、ビジョンに掲げられている財政収支の試算というところと見比べても、平成28年度から以降の数字が資料に載っていますが、段々減少して行って、令和2年度においては、この想定値の半分以下になっているわけです。やはり、経営上のお考えもあつてのことだろうと思いますが、どうして建設改良費を計上できなかったのかというところは、明確に検証といいますか、総括しておく必要があると思うのですが、その辺をどうお考えなのかということもあります。</p>	
18	<p>ビジョンでは、例えば基幹管路であれば、口径400ミリメートル以上は毎年0.4キロメートルずつ更新するとか、計画値がきちんと載っているわけです。にもかかわらず、管路整備がされてこなかったということは、やはり苦渋の選択という理解もあると思うのですが、その辺についてどういうハンドリングがされていたのかということがございます。</p>	<p>令和4年度第3回 (令和4年9月29日)</p>
19	<p>管路にせよ、施設にせよ、法定耐用年数というものがあつて、それに従って減価償却をしていきますが、やはり全国的にもそうですが、高度経済成長期に水道施設も給水区域が拡大すると同時に集中して整備をしています。ということは、ほぼほぼ40年経ってきて、まさにこれからの時期が、その更新の時期を迎えていくというところに、全国的に当たっているということは事実でございます。</p> <p>一斉に管路が不具合を来すということはないとは思いますが、やはり、水道管にしろ、設備にしろ、弱いところから漏水が発生するということになりまので、やはり危ないところから、予防保全として更新をするという考え方を取入れていかないといけないと思いますし、それを踏まえて、ビジョンの中で謳われていますので、このビジョンの施策を実現するための方向も考えていただけないかなというところでございます。</p>	

【4. 経営状況（料金等）】ビジョン施策5

番号	意見・質問	審議会開催日
20	<p>「水道施設の計画的耐震化と更新」につきましてですが、これはどこの水道事業体であっても、施設整備は最もお金のかかる部分でございます。そういった意味では、さきほど意見も出ていたとおり、いかに必要な財源を確保し且つ平準化するかというところが大事かと思えます。</p> <p>そういった意味では、やはりアセットマネジメントを導入するというのは意義のあることとございまして、施設もそうですし、管路更新もそうですし、その辺の更新需要をまとめて全体的にバランスを見るという意味では、必ずや生きてくる話でございますので、是非、お願いしたいと考えております。</p> <p>ただし、先ほどから出ておりましたが、システムを一回入れたらそれで良いというものではなく、この資料の中にもありましたけれども、マネジメントサイクルの中で定期的に見直しをしていかなければいけないということは、ご承知おきしていただきたいと思えます。そうでないと、40年間の中で財政収支を見ていった上で更新計画を立てていくという流れになりませんので、そのようにご配慮をお願いしたいと思えます。</p>	令和3年度第1回 (令和3年6月30日)
21	<p>今後費用がかかるということで、結局自助努力が必要ということですね。頑張らなくてやっていってもらえればと思えます。</p>	令和3年度第2回 (令和4年3月29日)
22	<p>本庄市は他市町よりも、非常に水道料金が安いということは、市民にとって大変ありがたいことだと思いますが、今後は人口が減少することも予想ができています。人口が減少しても企業が増えれば、収支の見通しが立つかも分かりませんが、給水人口等も減少すると、将来的に給水収益が減るのではないかと思います。</p> <p>現金預金がおよそ14億7千万円あるという説明で、このグラフだけ見ると望ましいと思ったのですが、給水人口が同等規模の県内の水道事業体の平均値がおよそ19億円だとすると、それを上回っているような経営をなされているのであれば、先ほど他の委員からお話がありましたとおり、先日の静岡県のような状況が発生しなければよいのですが、今後において、関東直下型の地震等、大規模な災害が発生した場合、対応しきれないのではないかと思います。</p>	令和4年度第3回 (令和4年9月29日)
23	<p>水道事業が独立採算で運営されているということを考えると、今後何らかの方策を考えていく必要があるのではないかと。</p> <p>これは足らなければ、一般会計から補ってもらえばいいというようなことではなく、独立採算ということを基本に、料金設定を考えながら、預金も考えて、何かあった場合には対応ができて、余裕の持てるような、尚且つ、欲を言えば市民の負担はなるべく抑えるという、少し我儘な質問になりますが、その辺について事務局はどのように考えていますでしょうか。</p>	